

まごころだより 高松

発行所 NPO法人 長寿社会支援協会(まごころケアサービス 高松センター)

〒761-8052 高松市松並町802番地1 TEL 087-865-8001 FAX 087-865-8039 E-mail magokoro@hyper.ocn.ne.jp URL http://cho-jyu.info/

印刷所 株式会社成光社 〒760-0065 香川県高松市朝日町5-14-2 TEL/087-823-0222



栗



コスモス



ザクロ

笑顔の交わり

NPO法人長寿社会支援協会

理事 松本あゆみ

今年5月以降「4年ぶり」や「3年半ぶりですね」というご挨拶をあちこちで耳にしました。今年の夏は大変な暑さでしたが、様々なイベントも4年前の状況に近い賑わいをみせていました。皆さまはこの夏を楽しまれたでしょうか。

最近は銀行、スーパー、コンビニ、映画館などで対面でのお金のやり取りが少なくなりました。周りの友人たちに笑われながら、私は現金の引き出しを窓口ですることにしており、ATMを使うことなく今日までできています。ところが、ATMでカードを長年使わないでいると、カードが使えなくなると教えられました。また、カードの磁気の劣化により使えなくなることもあるとのことでした。

あえて窓口に行くことにしてきましたが、カウソターの向こうのお嬢さんは、誰も皆いつも変わらない笑顔で迎えてくれるのです。あのいつも変わらない笑顔があっても、世の流れはやはり人の手を介さず機械の操作を勧めているのですね。人と人とお互いに交わり言葉を交わし触れ合う機会を求めながら、難しくしているように思えてなりません。

9月の「残暑」は秋の季語と聞きますが、秋の訪れはまだまだ感じることでないこもりがちなか日常の暑さですが、旅行や食べ物に季節を探しに出かけたいと思っています。

目次

●「笑顔の交わり」	1
●各分会だより	2
居宅介護支援	2
訪問介護	2
まごころサービス	2
有料老人ホーム あかりの里	3

研修部	3
●クイズ	3
●会員の唄	4
●会員だより	4
●編集後記	4

■各部会だより

居宅介護支援

高齢女性のAさんは、何度も体調を崩されながらも、ご自宅で認知症のBさんと同居されていました。Aさんの前夫は、老人病院に長期にわたり入院していたとのこと。その時、経済的にも大変だったのと、洗濯ものや必需品など身の回りのものを届けるのに、適当な交通機関が無く苦労したことが印象に残っていて、なおかつ面会も自由にできなかった経験から、「私は入院はしない。癌になっても手術もしないし、延命治療もしてほしくない」と言われていました。

そのAさん、夏の暑い日、脱水状態を起こしてご自宅で倒れました。たまたま来ていた娘さんから相談があり、救急病院に搬送され検査入院となりました。そこで癌の末期であることが判明しました。

ご家族で相談されましたが、認知症のBさんのお世話をしながら、在宅でAさんを看取るのは困難と判断し、Bさんは娘さん宅に引き取り、Aさんは某病院の緩和病棟に入院することになりました。

「入院はしたくない」とのご本人



の希望はかなえられませんでした。「手術はしたくない。延命治療は望まない」との本人の思いを尊重し、コロナ感染が懸念されているなか家族の面会が許されていたこの緩和病棟への入院を決めたとのこと。

緩和病棟に転院して2週間後、ご家族に看取られながら亡くなられたとの電話を娘さんから頂きました。

Aさんの御冥福を心よりお祈りいたします。残されたBさんへの支援はご家族と共に新たな段階へと移ることになりました。

訪問介護

半月ほど前、一人の男性から「困っているのでサービスを利用したい」とのお電話がありました。すぐにケアマネージャーに連絡し、訪問してもらいました。

以前にも色々なサービスを利用していたが中断していて、今回新たなメニューのサービスを加えて利用をはじめたいとのこと。

ご本人の希望で、訪問介護は私どもの事業所「まごころ」を利用して頂くことになりました。どうして「まごころ」を選ばれたのか、とお伺いしましたら「数年前に訪問してもらい相談にのってもらったことがあり、



その名刺に書かれていた『NPO(特定非営利活動法人)』で決めた」と言ってくださいました。

数ある訪問介護事業所の中から選んで下さり、本当にありがたい事です。名前に恥じないよう、ご期待に沿えるよう努めたいと思っています。

まごころサービス

今年の夏は例年にも増して暑く、皆様におかれましては過ごしにくい日々だったのではないのでしょうか。

さて、利用者のN様は今年96才になられるのですが、これまで20年間介護保険を利用し、「要支援」を維持されながらお元気で過ごされてきました。

しかし、連日の暑さで熱中症になり、庭で転倒されている所をヘルパーさんに助けられ、入院することになりました。退院後は「要介護1」になり、この様な事があつて県外に住む子供さん達は健康状態や安否を非常に心配され、ケアマネージャーさんと相談された結果、毎日、朝、夕、2回ヘルパーさんが安否確認を兼ねてケアを行う事になりました。

退院後はヘルパーさんに見守られ、転倒もなく無事に過ごされています

ので、離れて住む子供さん達も少しは安心されているのではないでしょう。



有料老人ホーム あかりの里

介護の仕事について今年で24年になりました。色々な方との出会いがあり、その度に人としても学びがたくさんありました。体調を悪くして休んだり、精神的に疲れて何度もやめたいと思ったことがありました。

そんな時、ある人から「この仕事は、あんたでないとできないから、頑張っ

これ来ました。

ここ「あかりの里」には長い歴史の中、様々な人生経験豊かな方々が集われ穏やかに過ごされています。入所者皆様の長寿をお祝いする今日の「敬老行事」はスタッフの手作りで行っていますが、皆様静かに楽しんで受け入れて下さっていると思います。「あかりの里」の一年間の節目となる大きな行事の一つです。

このような場に立つと、これからも周りの方にいただいた恩を忘れずに、他利愛の精神をもって、ご利用者のために頑張りたいと思います。皆さまよろしくお願いいたします。彼岸を過ぎたとはいえ残暑厳しい日々が続きますが体調にお気をつけてお過ごしくださいませ。(M)



研修部

介護福祉士実務者研修

介護福祉士国家試験に必要な介護福祉士実務者研修(通信課程)を実施しています。研修の大半は自宅学習ですが、途中7日間のスクーリングがあります。ほとんどの受講生は仕事をしながらの受講です。

今年4月から6名が受講中でしたが、うち1名は介護職員初任者研修修了の資格があり4ヶ月で卒業しました。あとの5名は6ヶ月間の研修を終え9月末に卒業の予定です。今後も毎月受講生を募集中です、介護職としてのスキルアップのため挑戦してはいかがでしょうか。受講にあたっては県の支援制度があります。詳しくは下記までご連絡ください。(ラポールカレッジ)

☎ 087-815-0760

福祉有償運送運転者講習

福祉有償運送運転者講習を実施しています。様々な理由で公共交通機関の利用が困難な人の移動を支援する運転手を養成する講習会で、修了者は、国の登録や許可を受け、2種の運転免許がなくても移動サービスの運転手として活動できます。

高齢化社会を迎え益々増える移

動困難者や移動制約者の方たちに

対し、移動サービスの担い手として活躍されることを期待しています。受講者

を募集中です、興味、関心のある方はご連絡ください。また、私たち「まごころ高松」では「まごころ移動サービス」を行っています。通院や買い物などお困りの際はお声がけください。

(まごころケア高松) ☎ 087-865-8001



クイズ

枠の中のひらがな全てを使って、昔話を11個作ってみましょう。

○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○
○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○
○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○○

う	う	き	し	ろ	さ	め	い
ら	き	い	ら	た	う	あ	ん
し	も	や	お	ん	な	す	ぼ
ま	も	じ	さ	ん	ぞ	う	う
た	た	う	ず	き	か	う	し
ゆ	ろ	う	よ	わ	か	ぐ	ゆ
ろ	う	ち	じ	っ	き	や	き
ん	か	べ	う	ひ	っ	ひ	っ

会員だより

「仕事は私の運動であり

人との交流の場」

村岡 泰子

今年の夏は特に暑く、食べ物喉を通らない利用者さんにコーヒゼリーを勧めると「これはいける」と喜ばれました。「昔の手打ちうどんが食べたい」という方とはお宅で一緒にうどんを打ちました。

利用者様が私の訪問を心待ちにして下さるので、こちらも一生懸命になります。私は62才で県主催のヘルパー養成講座を受け、1年間は介護施設で働きました。訪問介護員になって17年が経ちます。同じ利用者さんを長年にわたり担当したこともあります。

訪問先での丁寧な掃除や料理の手助け：喜ばれながらの仕事は私の生きがいです。仕事というよりは自身の運動であり、人との交流の場です。炎天下やどしゃ降り雨の中での自転車移動も苦にもなりません。高齢になっても仕事を下さる「まごころ」に感謝しています。



会員の唄

ベストとブローチ

小西路

暑い夏に何かを求めて歩いた。寒い冬にも歩いた。

どこかに何かがあるだろうと。そんな時に左横側から助けがくる。今まで何にもなかったのに。

じゃあ、このようにしましょうと。

サツと痛かった肩のコリが取れてくる。赤いブローチに輝きが冴えて

花の十字に導きが増えて

歩いて、歩いて、

歩き続けてゆく道が

教えられてくる。

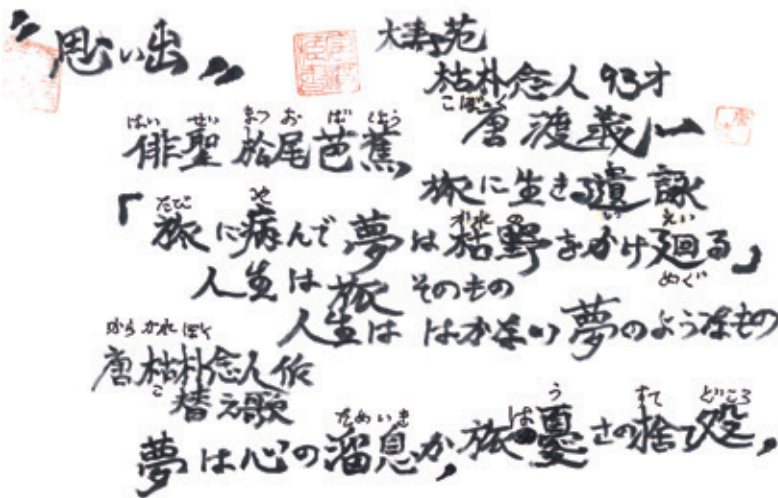
精一杯生きてきたね。

よくやったね。

腹もたてたんだね。

今元気になって、

これからが。



クイズの答え

- | | | |
|-----------|---------|-------|
| うさぎ | かぐやひめ | ももたろう |
| いつきゆう | あかずきん | かさじぞう |
| きんたろう | ゆきおんな | |
| うらしまたろう | いつすんぼうし | |
| わらしべちやうじや | | |

編集後記

2023年も残すところ百日となった。今年は「観測史上」、「〇〇年に一度」という言葉をよく耳にした。梅雨入りの早さ、猛暑日や真夏日の日数、各地の豪雨、沖縄を中心とした台風襲来。世界に目を向ければアメリカではハワイの山火事、モナコの地震、リビアの洪水など大きな災害が発生した。

子供のころ「日本は温帯にあり四季がある気候」と習った。しかし昨今の春・秋の短さ、暖冬、夏にはスコールのような雨や高温は「亜熱帯」に属するのではと感じる。

人は十九世紀の産業革命以来、便利さと速さを限りなく求め、それは大きなエネルギーを必要とするため、どんどん地球の表面を温めている。

地球の温暖化により70%の生物の種族が絶滅しているという学者もいる程だ。いつかは、地球から他の惑星に移住できるような時が来るのかもしれないが、地上での生活が続くかぎりには、戦争のない穏やかで平和な星として未来に引継いでいければと思う。

